

知ってもらいたい飯田水引き！

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【44号】
2024年6月5日発行
ご意見・質問は下記の
メールまでどうぞお
寄せ下さい。採用され
た方には旬の野菜を
プレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com



【五月の主な活動】

1. 稲作事業

- ・苗の水管理
- ・畦畔の草刈り／代かき
- ・田植え／水管理

2. 園芸事業

【野菜栽培】

- ・三期キュウリ／モロッコの播種
- ・里芋、ズッキーニ、大玉トマト、ミニトマト、キュウリ、各種ナス、さつまいも、ししとう、唐辛子、ピーマンの定植
- ・レタス、茎ブロッコリー、スナックエンドウ、キャベツ、ブロッコリーの収穫／出荷

【どうもろこし栽培】

- ・四期、五期分種まき
- ・三期、四期定植
- ・一期、二期 アナトン外し
- 3. 薬草事業
- ・畝の草取り
- 4. 加工事業
- ・味噌個包装／出荷
- 5. その他
- ・わらび収穫／出荷
- ・ドローンの再研修

⇒水引作品 最優秀賞に！

昼神温泉の出湯五十周年を記念して阿智村と阿智昼神観光局が1月に開催した「飯田水引コンテスト」の優秀作品が決まり、二十六日に表彰式が開かれた。最優秀賞にはあさげの里（阿南町）の近藤やよいさんの作品が選ばれた。

「夢」をテーマに一月八日～三十一日に手作りの水引作品を募集し、個性豊かな十四作品の応募があった。作品選考は昼神温泉への観光客を対象にした一般投票とSNSを使ったウェブ投票を実施し、五百十三人が投票。最優秀賞を含む六作の優秀作品を選んだ。

表彰式では同観光局の白澤裕次社長が受賞者に表彰状を手渡した。

最優秀賞を受賞した近藤さんは、阿智村のハナモモとテーマの夢を掛け合わせて「桃源郷」をイメージして制作。満開の桜の下でのティータイムの様子を立体的につくり上げ、



ティーポットを糸でつるすなどの工夫を凝らした。
あさげの里で水引ストラップの制作などを担当している技術を生かし、十種以上の水引を用いて二カ月かけて完成させた。近藤さんは「水引が祝儀袋の帯紐だけでなく、芸術品として見て楽しめるものだ」と多くの人に知ってほしいと話していた。
受賞作品は七月末まで昼神温泉の観光施設に展示する。

白澤社長は「県外客に飯田水引の良さを知ってもらい、南信州全体の観光振興につなげていきたい」と語った。（南信州新聞記事より）

稲作事業 「田植え」

十二日より田植えが始まりました。今年植付する田んぼは白毛餅五枚、コシヒカリ二十五枚の三十枚です。面積で五町歩を予定しています。

五条植えの田植え機で見る見るとちに水面が苗で埋まり、機械の進歩を感じます。

また稲作は今年も生産性に拘り、圃場の管理から収穫までの全てを、二人で管理することを目標にしています。

園芸事業

「野菜定植」

野菜も定植ラッシュです。キャベツ、ピーマン、ししとう、唐辛子に続いて、夏野菜の定植を進めました。ナス畑には千両、黒秀、丸ナス、河合ナスを定植しました。



田植えで苗代ハウスが空いてきたので、急いでトマト用に転換してマルチ張りを実施しました。



ハウスには大玉トマト六十六本、ミニトマト六十六本が植まりました。



キュウリの露地栽培は二畝を植付しました。昨年は露地栽培を二期に分けて定植しましたが、夏場は家庭菜園でも作る為、物量も多く、価格も安いので、今年の二期、三期は、比較的値段がある、秋からのハウス栽培に注力します。



「どうもろこし栽培」

五月十日、新野地区の朝の気温は四度、遅霜が降りました。アナトンの穴から出ていた葉が黄色く変色しましたが、茎は大丈夫で一安心しました。



昨年、マルチ穴の雑草に養分を取られ、収穫サイズが小ぶりだった反省を踏まえて、「どうぜ草を取ったらその場で粉殻を撒こう」と取り置き改善にチャレンジしています。



今年のどうもろこしは、新圃場で第五期までの定植を予定しており、定植数は二万一千本。既に四期まで定植が済んでいます。



【新野工場裏の新圃場】



薬草事業 センブリ

播種から一ヶ月、センブリの発芽を確認しました。昨年は発芽時にゼニゴケが発生しましたが、今年の圃場は水はけが良く、ゼニゴケの発生はありません。

